

令和 7 年度 ニシン漁獲物調査速報 (5) : 厚田地区

1~3月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和 7 年 2 月 26 日に石狩湾漁協厚田地区で水揚げされたニシンの漁獲物調査を実施しましたので、結果をお知らせします。石狩湾漁協厚田支所の皆様、ご協力ありがとうございました。他の業務が立て込んでしまい結果の報告が遅くなり申し訳ありません。

【結果】

1. 標本の採取状況

当日の漁獲物の中から「メス」、そしてオスの「特大」、「大」、「大中」の標本を入手し生物測定を行いました。

2. 銘柄「メス」の結果

銘柄「メス」の標本 43 尾中、卵粒が透明化し、腹部を圧迫すれば容易に卵が総排出腔から出てくるような完熟個体が全てでした。尾叉長 31~33 cm 台の個体が多かったものの、左に裾野の長い組成となりました(図 1)。体重は 360~449 g が中心で左に裾野の長い組成となりました(図 2)。

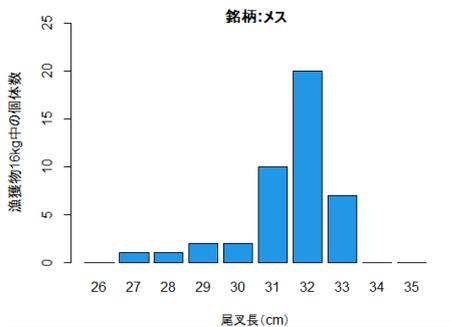


図 1 銘柄「メス」の尾叉長組成 (cm)

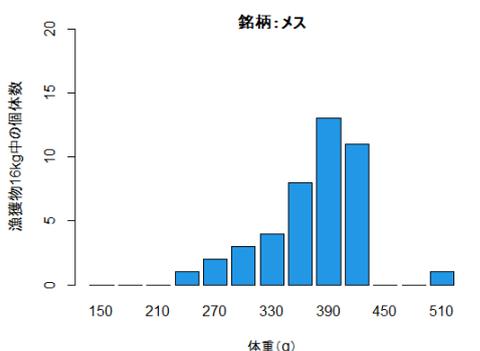


図 2 銘柄「メス」の体重 (g)

3. 銘柄「オス特大」の結果

銘柄「オス特大」の標本 41 尾すべてが成熟しており、放精前の個体(熟度 20)が 40 尾(97.6%)、すでに放精を開始している個体(熟度 30)が 1 尾(2.4%)でした。尾叉長 31~32 cm 台の個体が多く(図 3)、体重 360~419 g が中心となっていました(図 4)。

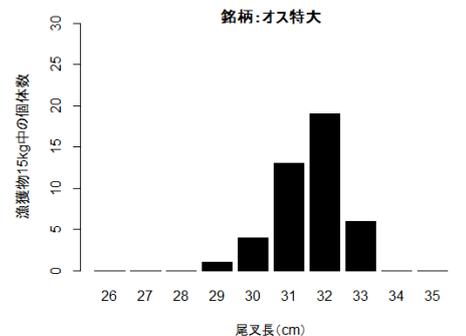


図 3 銘柄「オス特大」の尾叉長組成 (cm)

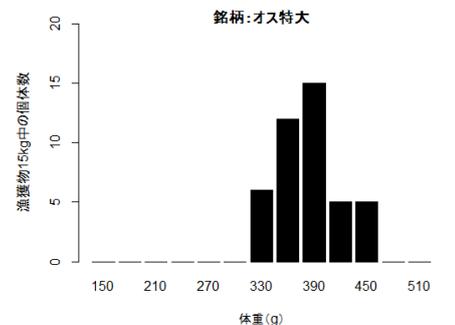


図 4 銘柄「オス特大」の体重組成 (g)

3. 銘柄「オス大」の結果

銘柄「オス大」の標本 57 尾すべてが成熟しており、放精前の個体（熟度 20）が 50 尾（87.7%）、すでに放精を開始している個体（熟度 30）が 7 尾（12.3%）でした。尾叉長 27～29 cm 台の個体が多く（図 5）、体重 210～299 g が中心となりました（図 6）。

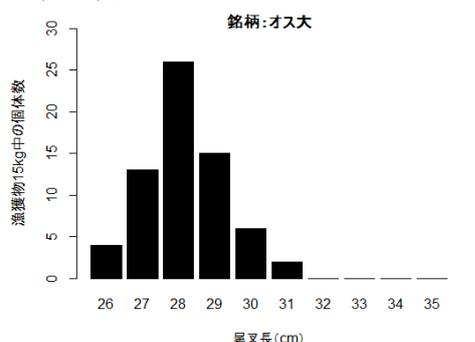


図 5 銘柄「オス大」の尾叉長組成 (cm)

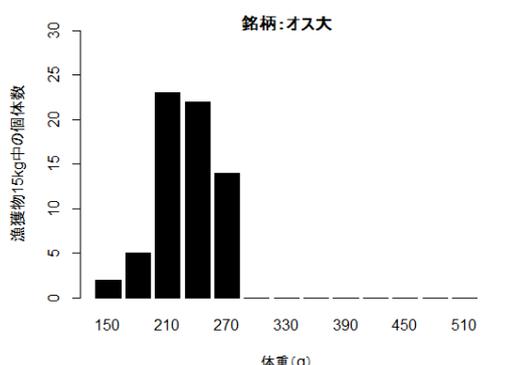


図 6 銘柄「オス大」の体重組成 (g)

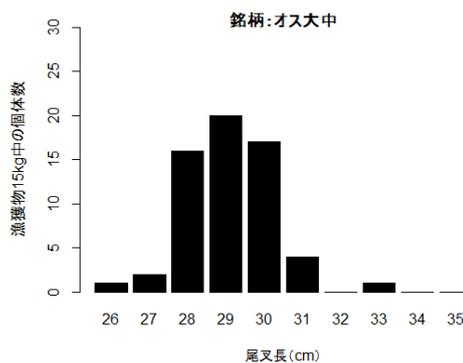


図 7 銘柄「オス大中」の尾叉長組成 (cm)

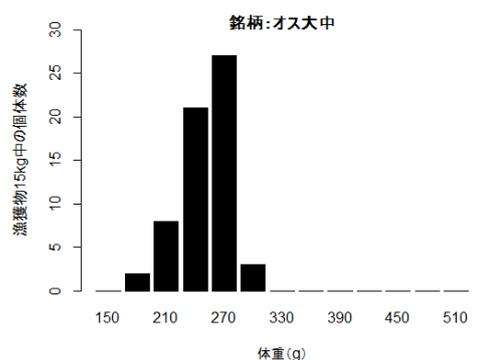


図 8 銘柄「オス大中」の体重組成 (g)

3. 銘柄「オス大中」の結果

銘柄「オス大中」の標本 58 尾すべてが成熟しており、放精前の個体（熟度 20）が 47 尾（81%）、すでに放精を開始している個体（熟度 30）が 9 尾（15.5%）、そしてもう放精を終えた個体（熟度 40）が 2 尾（3.5%）でした。尾叉長 28～30 cm 台が中心で（図 7）、体重は 210～299 g が中心となりました（図 8）。